

(一般情報)

「きつい」農作業を「きつくない」農作業へ

～農業労働改善研修会の開催～

安房農業事務所改良普及課 令和元年1月24日発

農業事務所では、1月17日に、新規就農者及び女性農業者を対象として、農作業の負担軽減を目的に研修会を開催したところ、11名の参加がありました。

始めに、館山市の花き農家の視察を行い、直はによる育苗管理の省力化と、手押し式テープシーダー(※)の導入による、は種作業の負担軽減の取組を学びました。参加者たちは、作業改善に取り組む積極的な姿勢に感心した様子でした。

次に、理学療法士を講師とし、身体の疲労軽減をテーマに、農作業の合間にできる身体のほぐし方などのワークショップを行いました。また、農業事務所からは、腰部サポートウェア「ラクニエ」等の負担軽減器具の紹介と実演を行いました。参加者からは、「今後、自分でも実践したい」という意欲的な感想がありました。

農業事務所は、誰もがいきいきと働けるよう、農業労働改善の取組を支援します。

※ 手押し式テープシーダーは、は種機的一种で、種子が封入されたヒモ状のテープをは種する器具のこと



現地で事例を「見て学ぶ」



ワークショップで「やってみる」